

夏の学校特別企画

天文学と安全保障の報告

谷本 敦 (京大D2) 野津 湧太 (京大D3)

善光 哲哉 (京大D2) 一色 翔平 (北大D2)

春季天文学会 天文学と安全保障

春季天文学会 天文学と安全保障1

- * 柴田さん(日本天文学会会長) : 概要説明
- * 須藤さん(日本学術会議前会員) : 学術研究と安全保障
- * コミュニティーの意見・総合討論等。

春季天文学会 天文学と安全保障2

- * 様々な立場からの意見が表明された。
- * しかし、若手研究者からの意見が十分では無かった。
- * そこで、若手研究者の意見収集を行いたい。

夏の学校 天文学と安全保障

夏の学校 天文学と安全保障1

- * 多くの大学院生が参加する、夏の学校で議論。
- * まず世話人から、今回の制度を含む概要の説明を行った。
- * その際、天文月報や春季天文学会の議論・情報共有。

夏の学校 天文学と安全保障2

- * その後、グループディスカッションを行った。
- * また、制度への是非についてアンケートを実施(後述)。
- * 最後に、全体討論を行った。

アンケートについて

アンケートの概要

- * 安全保障技術研究推進制度の是非について
- * 選択肢は賛成・反対・保留。
- * 回答数：138件 (cf. 若手の会会員数：約400名)

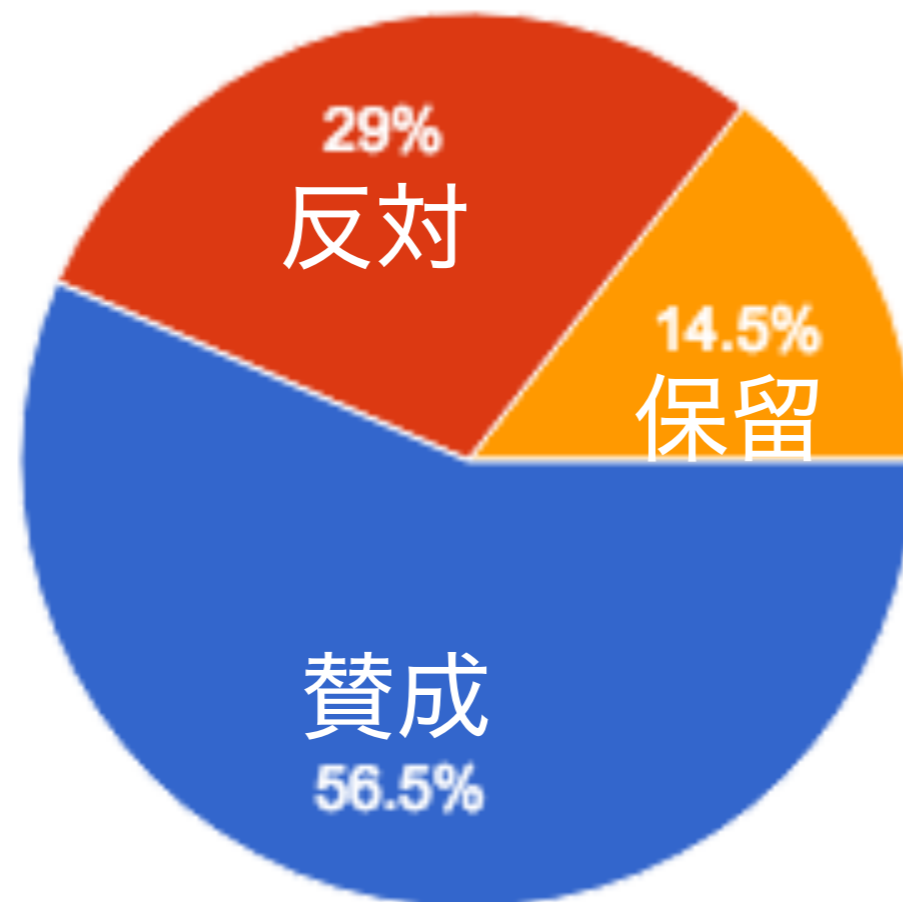
アンケートの補足

- * 賛否の数から若手の意見を1つにまとめる意図ではない。
- * 選択肢の理由についても必須項目。
- * 回答者の多くは修士学生。結果はリアルタイムで共有。

アンケート結果

この制度に

138 件の回答



賛成意見について

科研費と防衛省予算の違い

- * 文科省と防衛省から貰う予算の違いが感じられない。
- * 研究内容・成果公表は制限されていない。
- * 科研費を使用した研究も軍事転用され得る。

若手研究者の研究費関連

- * 若手研究者の研究費が少ない。
- * 研究資金を獲得する機会が増える。
- * 資金的な問題の為、賛成せざるを得ない。

反対意見について

科学技術と軍事技術は独立すべき

- * 科学技術と軍事技術は独立すべきである。
- * 軍事技術に転用されることに抵抗がある。
- * 研究に対する動機が歪められる可能性がある。

科学者のみではコントロール出来ない

- * 科学者の裁量を超えた部分のコントロールが出来ない。
- * 防衛省等の意向のみで軍事転用される可能性がある。

保留意見について

現状では判断出来ない

- * 現状では議論不十分の為、判断出来ない。
- * 研究内容が制限される可能性が否めない。

その他

- * 防衛省から予算を貰うことで科研費が減る可能性がある。
- * 不明瞭な点が多い、今後も議論を続けて行きたい。

まとめ

- * 夏の学校において、天文学と安全保障について議論を行った。
- * 賛成意見 : 文科省と防衛省の予算の違いが明確ではない。
: 若手研究者の研究費が多くない。
- * 反対意見 : 科学技術と軍事技術は独立すべきである。
: 科学者のみではコントロール出来ない。
- * 保留意見 : 現状では判断出来ない。
: 今後も議論を継続する必要がある。